

初心者にやさしい入門書

水墨画 ガイドブック



今日から始めたい
あなたへ！



わかりやすい解説

- ◆ 水墨画の道具
- ◆ 水墨画の基礎知識
- ◆ 水墨画の運筆技法

保存版

BEBE ROCCA

◆はじめに (P2)

◆第1章「水墨画の道具について」(P3)

- ① 4つの道具「文房四宝」とは
- ② 道具はどんなものが必要？
- ③ 道具の初期費用はどれくらい？
- ④ 道具はどこで買える？
- ⑤ 道具の扱い方について

◆第2章「水墨画の基礎知識」(P13)

- ① 水墨画とはどんなもの？
- ② 水墨画の魅力とは？
- ③ 水墨画のメリット・デメリット
- ④ 水墨画の練習方法について
- ⑤ 水墨画を長く続けるコツ

◆第3章「水墨画の運筆技法」(P18)

- ①技法についての考え方
- ②水墨画・基本の筆法
- ③水墨画・2大技法
- ④墨の表現
- ⑤筆の表現

◆第4章「水墨画に関するよくある質問」 (P28)

- ①水墨画と墨絵は違うものですか？
- ②水墨画と墨彩画は違うものですか？
- ③全くの初心者ですが描けますか？
- ④筆ペンを使ってもいいですか？
- ⑤墨汁を使ってもいいですか？
- ⑥水墨画は独学で学べますか？
- ⑦水墨画で何を描けば良いでしょうか？
- ⑧日本の水墨画と中国の水墨画の違いは？

◆さいごに (P35)

◆はじめに◆

こんにちは。墨絵師のベベロッカです。
このたびは、私の電子書籍を受け取って
下さり、ありがとうございます！

この電子書籍では、水墨画を始める時に
必要となる「道具」「基礎知識」「技
法」の3つについて解説しています。
初心者の方向けに、できるだけコンパク
トにわかりやすくまとめました。

基本的な知識はとても大切で、ずっと使
えるものです。楽しみながらあなたのペ
ースでじっくり読んで試して頂ければ幸
いです。

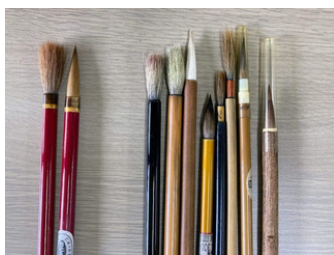
また、プレゼント動画の中では、この本
で紹介した「技法」の描き方を解説して
いますので、ぜひ合わせて参考になさっ
て下さいね。

◆第1章「水墨画の道具について」◆

ぶんぼうしほう

① 4つの道具「文房四宝」とは

水墨画では筆・墨・硯・紙の4つの基本的な道具のことを「**文房四宝（ぶんぼうしほう）**」と呼びます。



筆



硯



墨



紙

基本であり大切な道具ということですね。1つずつ紹介していきます。

・ 文房四宝
「筆」について



↓最初に私がおすすめする筆（クリックで見れます）
[「長流・小」（附立筆）](#)

水墨画で使う筆の毛は、イタチ・山羊・馬・タヌキ・鹿など様々な種類があります。

初心者の場合は、小・中サイズくらいの「附立筆（つけたてふで）」という種類の筆が使いやすいです。私も持っていますがオールマイティに使えて便利です。最初からいろんなサイズを揃える必要もありません。まずは慣れることから始めてみましょう！

【まとめ】「附立筆」小・中サイズで2、3本あれば十分。毛の種類はブレンドされたものでOKです。

・文房四宝
「墨」について



墨汁



固形墨

墨（固形墨）は、大きく分けて、菜種など植物の油から作られる「茶墨」（油煙墨）と、松ヤニから作られる「青墨」（松煙墨）の2種類があります。その名の通り、すった墨の色は茶色っぽい黒と青っぽい黒になります。

これはお好みで使い分けてOKです。また、書道用の墨も使えますよ。

【まとめ】墨はまず手軽なものから試しましょう。

練習用なら墨汁を使ってもOK！

・文房四宝
「硯」について



硯は書道用でOKですし、硯は古くても全然構いませんのでぜひお持ちのものから使ってくださいね。

ただ、もし墨をすっている時にガリガリ、など嫌な音がするようであれば、硯が原因の可能性も。

(墨が悪い場合もあります)

1つだけ注意点があります。時々プラスチックなど、石以外で作られたものがあります。それでは墨はすれないので残念ながらNGです。

【まとめ】墨は使えるものはお古でもOK。プラスチック・セラミック製の硯は使えませんので注意。

・文房四宝
「紙」について



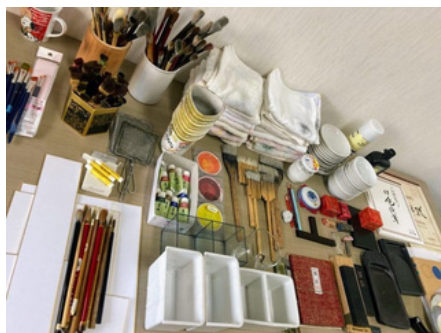
和紙の種類は多いですが、水墨画で使う紙は水を吸う和紙が基本です。反対に、一般的に私たちが日常で使う紙（ノート・コピー用紙など）は、防水加工がされている洋紙で、和紙と洋紙では加工方法が違うのですね。

防水加工がされていると水がにじまないため、楽々と描けますが、ふんわりとした濃淡やにじみは出せません。

水を吸う和紙は、基本的に画材屋さんでしか売っていませんが書道用半紙などから試しに始めてもOKですよ！

【まとめ】水を吸う和紙を使います。ネットでも売っていますが、手に入りにくい場合は、書道用半紙から始めてもOK。
(DAISOで買えますよ！)

②道具は
どんなものが
必要？



水墨画では文房四宝のほかに、

- ・顔彩（がんさい：絵の具のこと）
- ・とき皿・水入れ・タオル

などを使います。顔彩はお店で購入できますが、他はお家にあるものを使用してもOK。

道具を手に入れるには、色々方法がありますがそれは第1章一④で解説したいと思います。

【まとめ】筆・墨・硯・紙・顔彩・とき皿（3枚～）・水入れ・タオルがあれば描くことができます。

③ 道具の 初期費用は どれくらい？



水墨画は最初に道具を揃えれば、消耗品は紙代・顔彩代くらいで、他は長く使えるものばかりです。

材料代は初心者の方に全部揃える例で言うと、2万円で十分お釣りがくるくらいです。安くてもOKなものを100円ショップで買うなど工夫をすれば節約できます。はじめは高級なものを買って揃える必要がないので、お財布に優しい絵画です。

【まとめ】水墨画はコスパが良いです。墨はかなり長く持ちますし、筆は半永久的に使えます。

④ 道具は どこで買える？



ほとんどの道具がネットでも買えます。
以下に、おすすめのお店を紹介します。

(↓店舗名をクリックでページが開きます)

• 書遊オンライン

(商品数も情報も多く充実している)

(↓店舗名をクリックでページが開きます)

• 誠華堂

(卸屋さんで価格が安くほとんどの道具
が揃います※ネットショップは無し)

【まとめ】ネットは価格を比較できて便利。
実店舗へいくと詳しく商品説明が聞けるので
お得情報ももらえます。100円ショップで買えるもの
もありますよ。

⑤ 道具の 扱い方について



使った後の道具はきれいに水洗いして、水分をよく拭き取りましょう。墨や顔彩には膠（にかわ：ゼラチンのような成分）が入っているため、湿度が高いところに置いたままにすると、ベタベタしますし、保管状態が悪いとカビが生えることも！

とにかく湿気を嫌いますので、なるべく乾燥させて下さいね。（↑画像は、膠がくっついた状態の顔彩）

【まとめ】水墨画の道具は水を使うので、使用後は汚れを綺麗に洗って、よく乾燥させて下さい。

◆第2章「水墨画の基礎知識」◆

①水墨画とは
どんなもの？



(涙でネズミを描いた伝説のある雪舟像)

水墨画は千年以上前、中国の唐代に誕生し、鎌倉時代に禅宗とともに日本に伝わりました。室町時代に**雪舟**という禅僧が、水墨画を描き活躍したおかげで「日本の水墨画」が確立されました。雪舟は**雪村**、**長谷川等伯**、**狩野派**など後世の有名画家に大きな影響を与えます。水墨画は日本の絵画として成長していき、浮世絵を生み、日本画などへ変化を遂げてゆきます。

現代においてもなお、シンプルで潔い水墨画は、多くの人を惹きつけるクラシック絵画として生き続けているのです。

②水墨画の 魅力とは？



水墨画の特徴は、墨と水の融合による、**にじみやかされ**、また**濃淡**による味わい深い表現が魅力です。

ごさい

「墨に五彩あり」という言葉がありますが、これは絵の具を使わず墨のみで描いても、美しい濃淡を作ることによって、まるで色を使っているかのような**バリエーション**を描ける、という意味合いです。

水墨画を好む外国の方もとても多く、シンプルな描き方を好ましいと思われるようです。また、水墨画と共に伝わった禅の精神もリンクし、憧れの対象になるようですね。

③水墨画の メリットと デメリット



<メリット>

まず、珍しいジャンルであるということから、「水墨画を描いています」と言うだけで**憧れや尊敬**のまなざしで見られることが多いです。また、絵を飾ると**お家はかなりグレードアップ**します。それから、筆やにじむ紙を使うことで脳に良い刺激があるためか、水墨画家は**長生き**の方が多いようです。

<デメリット>

特に思いつかないのですが・・・墨で汚さないように気をつけて下さいね、くらいでしょうか（笑）

④水墨画の 練習方法について



<その1：上手な人の所作を観察>

ひたすら運筆、だけでなく、腕の動かし方なども観ると参考になります。
※ただし上手な人です（先生など）

<その2：それを真似する>

運筆練習というと、紙の上の筆の動きだけに気を取られますが、全体の腕の動きなども真似して描いてみて下さい。上手な人になりきったつもりで全体を真似し続けていると、いつしか**同じ動き**ができるようになり、そうなると絵も一緒に上手くなっていくのです。

（実際に私がそうだったので、自信を持って言えます。）

⑤水墨画を 長く続けるコツ



「水墨画」に興味を持たれたあなたに、本当に心の底からお伝えしたいことがあります。

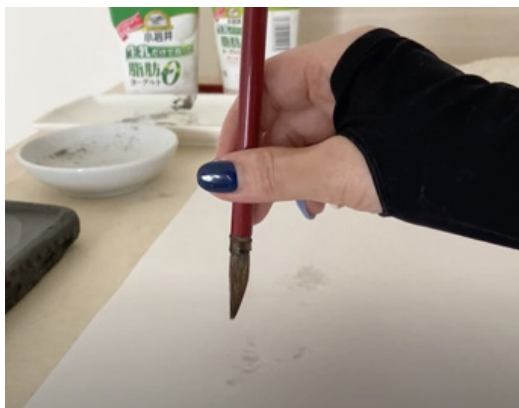
水墨画を描いて、少しずつでも続けていくと、生活が変わります。それは、ものの見方が変わってくるからです。

花の絵を描いたら、花を観察するようになるし、鳥を描いたら鳥を可愛く思えるようになります。身近な、あらゆることに興味が出ると世界がぐっと広がり、**あなたの心も豊かに変化します。**

本当に私が願っているのは、そんな、あなたの**心の変化**です。世界が広がると、水墨画はごく当たり前あなたの生活の一部となり、自然と長く続けられるようになるはずです。楽しみにしています！

◆第3章「水墨画の運筆技法」◆

①技法についての考え方



水墨画は、筆を使って一息に描いたり、水と墨をうまく溶け合わせた濃淡の表現など、「**運筆技術**」が特徴的な絵画です。筆運びを大切に考える、という点では書道と共通するところかもしれません。そんな特別な魅力を持つ水墨画には、**運筆技法**がたくさんありますよ。

このガイドブックでは、その中でも特によく使用するぜひ覚えておいて欲しい技法を紹介したいと思います。

ぜひ参考にしてみてくださいね！

②水墨画・基本の筆法

ちよくひつ そくひつ 「直筆と側筆」



直筆（ちよくひつ）

側筆（そくひつ）

・直筆は細い線や、幅が同じの線を描くときに使います。（例：物の輪郭や、細い木の枝など）

直筆の時は、画像のように筆は立て、先の方を持つと安定して描けます。

・側筆は広い面を一気に描きたいときに使います。筆の長い方の幅をめいっぱい使って描きます。（例：木の幹など）

側筆の時は、画像のように筆を寝かせます。筆を持つ手の位置は上の方が持ちやすいです。

③水墨画・2大技法

こうろくほう もっこつほう
「**鉤勒法**と**没骨法**」



鉤勒（こうろく）



没骨（もっこつ）

こうろくほう

・**鉤勒法**とは、**線描き**のこと。

画像左の白い椿（花の部分のみ）のように、物の形を線で形取るように描きます。

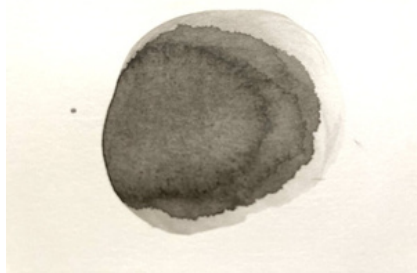
もっこつほう

・**没骨法**とは、**面描き**のこと。

画像右の赤い椿のように、アウトラインの線描きをすることなく、全て面で形を描きます。

この2つの描き方は、水墨画だけではなく絵の基本の描き方ですね。

③墨の表現：
「たらしこみ」



ケント紙に描いた
模様



官製葉書に描いた
チューリップ

【用意するもの：水を吸わない紙（画用紙でOK）】

水を吸わない紙の上に薄墨を置き、その上に濃い墨を重ねると、濃い墨がしばらく紙の上でとどまります。そして時間をかけて乾いた後には、**面白いたまりの模様のようなものができます。**これが「たらしこみ法」です。

普通の紙で簡単に試せます。

※水を吸う和紙では、このような「たまり」はできません。

③ 墨の表現：

はぼくほう

「破墨法」

水を吸う和紙に
描いています→



「破墨（はぼく）法」とは、薄墨の上に濃い墨を重ね、墨の変化による**質感・立体感**などを表現する技法です。

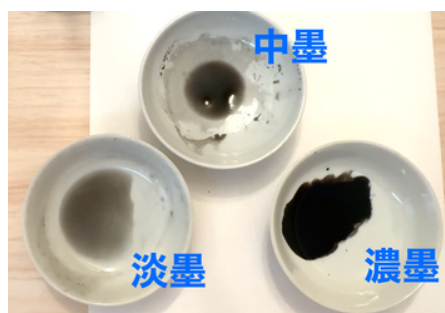
やり方だけを見ると、「たらしこみ」と似ているような気もしますね。ただ、たらしこみの絶対条件としては「水を吸わない紙」を使用することです。

「破墨（はぼく）法」はよく使いますよ！特に風景画や遠景の木の様子などを描く時に、活躍します。一気に表現が豊かに広がります。

紙の種類が変わるだけで、こんなに違った表現になるのはとても面白いですね。

③ 墨の表現：

さんぼくほう
「三墨法」



【作り方】：あらかじめ皿に淡墨・中墨・濃墨の3種類を分けて用意。

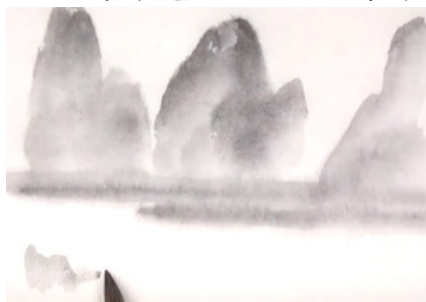
筆を水できれいに洗い、①筆全体に淡墨を含ませ、②筆の穂先3分の2まで「中墨」をつけ、③筆の穂先だけに濃墨をつける。そうすると筆の中で3つの墨が混ざり合い濃淡が作られます。そのまま紙に描くと美しいグラデーションを作ることができます。

右上の葉のように一筆で濃淡を作りたい時に使える技法です。

水墨画の技法の中でも「濃淡」を作るための基本とされる方法です。

④筆の表現：

じゅんぴつ
「潤筆」と かつぴつ
「渴筆」



潤筆で風景画を表現



渴筆で岩を表現

・潤筆（じゅんぴつ）・・筆に水・墨を含ませて自然な**にじみ**を調節しながら描く技法。水分を多めにすると優しいイメージになります。

・渴筆（かつぴつ）・・筆の水分を控えめに、墨も少なめに取り、**かすれ**が出るように描く技法。筆に空気を含ませるようにリズムよく運筆します。

時には偶然できた結果を絵に活かす**にじみとかすれ**は、水墨画ならではの醍醐味！！水分量を調節することで、違いを出せますよ。

④筆の表現：
わりふで
「割筆」



動物の毛の表現



草の表現

割筆（わりふで）とはその名の通り、
筆の穂先を広げて使うこと。

上の画像では、動物の体毛や、様々な
草や、アイデア次第で色々試せます。



コスモスなど、幅広の花びらを描く時
も必ず割筆します。

割筆はとてもよく使う便利な方法なの
で、ぜひ試してください。

とても面白いですよ！

④筆の表現：

かた
「片ぼかし」



「片（かた）ぼかし」は水墨画ではおなじみの技法です。雪山など、「白」の表現をしたい時などに使います。（画像）

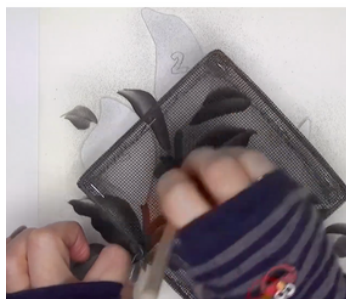
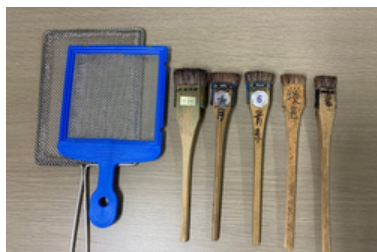
山の線描きをせずその外側を色付けることで、山の形を浮き上がらせるようにして描きます。**片側だけぼかすようにすることから、「片ぼかし」という訳ですね。**

白の表現は、顔彩を使用する場合がありますが、水墨画では、**白は紙の色をそのまま残すことで表現することが多いのです。「白」を描かずして描いているのです。**

「片ぼかし」も水墨画らしい技法といえます。

④筆の表現：

「ぼかし」^{ふきずみ} (吹墨)



このぼかし法は、専用のぼかし筆と網を使い、紙の上に墨や顔彩をミスト状にして落とす方法です。

ぼかしは演出として優れていて、**絵をより美しく華やかに仕上げる**、という効果があるので、非常によく使いますが、全くこの手法を使わない方もおられます。片ぼかしと比較すると「簡単なので邪道」と考えられるようですね。(実際はけっこうコツがいます)

でも、**絵が簡単に、より良くなるのならそれが一番**ですし、楽しい技法なので私は好きです。

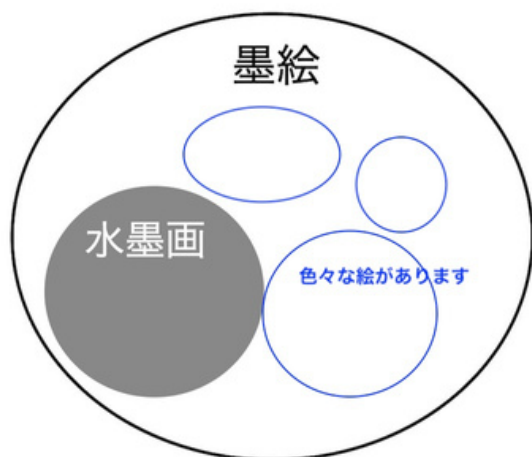
◆第4章「水墨画に関するよくある質問」◆

最後に、よくある質問を8つ紹介したいと思います。あなたの疑問も解決できますように！

質問①

水墨画と墨絵は違うものですか？

「水墨画」は、水と墨を使ってぼかし・にじみ・濃淡などの表現が持ち味の絵画です。一方、「墨絵」は、墨を使って描いた全ての絵を指します。違い、ではなく**墨絵という大きな絵画の中に、水墨画が存在するというイメージです。**



質問②

水墨画と墨彩画は違うものですか？

流派によって違いますが、墨だけを使う絵を「水墨画」、墨プラス色（絵の具）を使う絵が「墨彩画」と考えられるのが一般的かもしれません。

ただ、水墨画といって色を使う画家もおられるし、描く絵によっても違います。
私自身、墨も色も両方使います。作品によって描き分けているのです。

質問③

全くの初心者ですが描けますか？

もちろんです！私の教室でも90%以上の方が、絵自体が初めて、と言う初心者からスタートされています。真っ白な状態で始められる方が、素直に吸収できてむしろ理想的だなと、私は考えています。

質問④

筆ペンを使ってもいいですか？

筆使いの練習や、遊び感覚で描くのであれば、OKです。私も、イラスト的な絵を筆ペンで描いたりします。和紙を使ってちゃんと作品を描く場合には、墨を使った方が良いでしょう。筆ペンの原料は墨ではなくインクですので。

質問⑤

墨汁を使ってもいいですか？

筆ペンと同じく、練習用ならOKです。墨汁と固形墨の大きな違いは、膠（にかわ）という成分が入っているかどうかです。膠は墨の原料となる煤（すす）を固めたり、重要な働きをします。ですので膠の量が少ない、または入っていない墨汁を使用すると、紙に墨が定着しないため、キレイに描いたつもりでもあとからにじみが出たりすることがありますので、ご注意ください。

質問⑥

水墨画は独学で学べますか？

結論から言うと、**YES**です。

今は、インターネットがあるので、お金をかけずにネットからたくさんの情報を集めることができます。

ただ、独学はけっこう大変です。なぜなら、**疑問が生じたときにすぐに解決できないから**です。特に、水墨画の場合は、**運筆**という特殊な筆の技術がポイントとなりますので、本だと、手本にはなりませんが筆使いがよくわかりません。

YouTube動画でも肝心な手元が見えないな~ということが多いですよね。

最近では**zoomレッスン**を開催している先生がけっこういらっしゃいますので、予約申し込みをして、疑問点をずばり簡単に解消して頂けることもあります。

やはり、時間・労力的に考えても、**人に教わるのが一番効率的**かなとは思いますが。その部分で苦勞する必要はありませんからね。

もし自由にやりたい場合は、ネットなどで教えている先生を探して、単発のレッスンで教えて頂けるかどうか、先生に相談してみるなども良いかもしれませんね。

質問⑦

水墨画で何を描けば良いでしょうか？

好きなものを自由に描いていいんですよ！・・・と言いたいところですが、初めは描く題材にも悩みますよね。

1：絵のテーマは大きく分けて3つあります。

・ **風景画**・**人物画**・**花鳥画**です。

もし悩んだら、まずこの3つのジャンルのうちどれが好きかな？とふんわり考えてみてはいかがでしょう。

お花が好きだから花を描こう、では好きな花は・・・という風に自然にとらえても良いですよ。

2：あるいは、本やYouTube動画などを色々みて、まず**自分好みの絵を探してみる**。

自分の好みのスタイルって必ずあります。ぜひ探してみてください。

そして、それが見つかったらまず真似してみることからスタートする。模写は絵の上達の第一歩です。

「基礎から描かないと」ではなく「**自分の好きなもの**」基準にすると、きっとスムーズに描けるはずですよ！

質問⑧

日本と中国の水墨画の違いは？

日本の水墨画：

水を巧みに使い、ぼかしやにじみを使った表現を生み出し、日本独自の水墨画を確立させました。柔らかくシンプルな絵が特徴です。また**日本の水墨画は叙情的**（物事に対する感情を表現し、想いを込めること）であると言われます。

中国の水墨画：

対象物の輪郭線をしっかりと描くことが多いです。ですので、はっきり・くっきりとした印象の絵が特徴です。また、**中国の水墨画は、叙事的**（物事をそのまま客観的にとらえ、論理的であること）であると言われます。

同じ水墨画でも、それぞれ全く違う個性である、ということですね。

◆さいごに◆

最後まで読んでくださりありがとうございました！

水墨画は、知れば知るほど、描けば描くほど奥が深く、面白く、興味がつきない絵画です。また、難しそうに思えますが**案外初心者に優しい、フトコロの大きさ**も持っているとは私は考えています。

長い長い歴史を誇る水墨画に対し、過去のもの、という感覚を持つ方もいらっしゃいます。ところが、水墨画に関わる人生を送ると、その歴史ゆえに周囲の人から**リスペクト**されることが多くなります。

水墨画＝日本の文化という重厚なイメージを持って頂けるようですね。

あなたご自身の水墨画の歴史も、たった今始まったばかりもしれませんね。

ゆっくりと、あなたらしいペースで歩んで頂きたいと、心から願っています！

BEBE ROCCA 拝